



週報

まるがめ

会員数 60名 出席者44名・欠席者15名・免除会員3名
欠席者 天野・有家・麻田・飯間・後藤・細谷・和泉享・岸上・松山
眞鍋・中野昌・尾崎・高岡・竹内一・武中-会員
前々回出席率 86.21% (9/13)

2018.9.27
Vol.56
No.12
(2723)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会長 川原 一夫
幹事 福田 洋子
会報委員長 岡田 将一郎

お知らせ

・ 9月のプログラム
6 (No.1)-クラブフォーラム
13 (No.2)-会員卓話
20 (No.3)-夜間例会観月会
27 (No.4)-客話

・ 他RC例会変更
丸亀東 9/11→9/14 夜間例会
9/25→9/26 夜間例会
善通寺 9/26 夜間例会

・ ニコニコBOX;なし
よいことがありました
秋山憲夫君
丸亀RCゴルコンペニアピン
頂きました
小山君 斎賀君 山内光君
お月見会のお団子美味しかった
です。ありがとうございます。
福田君

<ニコニコ会計累積/¥108,623>

・ がんばるBOX;なし
早退します
秋山恒嘉君 富田君
丸亀RCゴルコンペ優勝しました
稻田君
菅会員の国債の話を聞いて
川原君
がバナー補佐頑張ります
夏見君

<がんばる会計累積/¥113,000>

例会場・事務局
丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

日本独自の芸道として、発達したのに香道というのがあり、おもにふたつの作法があります。1つ目が聞香といい、香木の香りを聞き、鑑賞すること。もうひとつが組香(くみこう)といい、香りを聞き分ける遊びです。また香木にも種類があり、伽羅と言われる香木で、東南アジアで産出され、ジンチョウゲ科の樹木が、樹脂を浸出し、水中や地中に埋もれた物を沈香木と言い、さらに土中で長年熟成されたものが黒伽羅と言います。伽羅の最高峰は平安時代から正倉院に収蔵されている蘭奢待です。国宝を越える御物と呼ばれ、天皇の許可なくしては持ち出すことはおろか、見ることもかなわぬ宝です。西洋では、香水の原料である香料を得るための技術は、中世のアラビヤに生まれました。その後アルコールと合わせた香水が作られるようになりました。フランスに香水が誕生するのは約16世紀頃のことと、イタリヤのメディチ家の王妃がフランス王アンリ2世に嫁ぎフランスに赴いた時、同時に香水の情報を伝えたことがはじまりといわれています。香水の聖地と呼ばれている南フランスのグラースという町で香水産業は発展してきました。香水は主に、香料とアルコールと蒸留水で作られ、その中に含まれる香料の割合により、いろいろな種類に分かれています。

香水分類

1位:ブルガリ プールオムエクストラーム
素晴らしい点はなんと言ってもくせがなく万人ウケする香り。

2位:アンドロン サムライEDT

爽やか系香水の代名詞といつても過言ではない。

3位:シャネル エゴイストプラチナム

トップはジュウシーな香りが目立つが、ラストはセクシーさを感じる甘美匂いへ変化を遂げるそうです。自分自身が持っている自分に対するイメージを、魔法の一滴で自分を変えることができる。また例会出席全員が、魔法の一滴を垂らせば、例会の雰囲気が色気むんむん、やる気むんむんになり、いい方向に変るのか、悪しき方向に変るのか、分かりませんが面白いなあと思ったしたいです。

■会長報告

2019-2020年度第Ⅱ分区ガバナー補佐に夏見良宏会員を推薦しました

■幹事報告

1. 9月26日日本語終了パーティーに5名出席
丸亀ロータリークラブより例年どおりアイスクリームを寄贈
2. 米山梅吉記念館の地区委員の藤井様よりお礼のお手紙が届きました
3. 例年どおり10月末までクールビズにします

■例会事業;会員卓話;菅会員「国債について」

国債について表面をさらっと説明したいと思います。

国債とは、国家が財政上の必要から国家の信用により設定する金銭上の債務、内国債と外国債があります。内国債とは国内で募集する公社債、外国債とは外国で発行される債権、外資建て債券。

(裏へ続く)



2018.9.27

Vol.56

№12

(2723)

国債の役割

政府は国家運営のため、税収不足分を国債発行により補っています。現在の日本においては、これがなければ政府は予算を減らすか(緊縮財政)、税収でまかぬ(増税)という方法を取らざるを得なくなり、社会的な混乱を招きかねません。また、国債にはほかの金融商品と交換できるという使い勝手の良さという側面もあります。

国債の種類

超長期国債(15年 20年 30年 40年)

変動利付国債(15年)

物価運動国債(10年)

長期国債(10年)

金融緩和政策の長期誘導金利 0.2%まで容認 現在0.14%程度です

国債の価格は変動します。国債の長期金利の指標となる銘柄「新発10年物国債」は固定金利です。この国債が発行された時点のの利率がずっと続きます。しかしその後に新発国債の金利が上昇するとそれより前に設定された金利は不利となり、この国債の発行価格は下げるを得なくなります。国債の金利は、基本的にはインフレ率に比例し、インフレになれば金利は上昇し、国債の相場は下がることとなります。債券を欲しい人が多ければ、低い金利でも債券が売れると考えれば理解できると思います。

中期国債(2~5年)

国庫短期証券(2ヶ月~1年)

個人向け国債(固定3年 固定5年 変動10年)

個人向け国債は元本割れのリスクはありません。

変動金利型10年未満国債の場合

発行頻度 毎月

購入単位 最低1万円から 1万円単位/上限なし

販売価格 額面100円につき100円

購入対象者 個人に限定

金利タイプ 変動金利(半年ごとに適用する金利が変わります)

金利の設定方法 基準金利×0.66(直近の10年平均落札利回り)

金利の下限 0.05%

中途解約 可(発行後1年経過すれば可能 直前2回分の各利子が引かれます)

償還金額 額面金額100円につき100円(中途換金時も同じ)

導入次期 平成15年3月

平成30年8月30日付の日経新聞では、国内債券市場では売買が再び停滞してきたという記事があります。また、よく31日付では、格付投資情報センターは日本国債の格付見通しを「安定的」に引き上げたと発表したという記事もあります。